

252

△重慶（中華郵政）四月一日

◎ 日本郵政省は、重慶の放送は、日本は對米關係悪化を極度に恐れ、或る方面では松岡外相が實現せば太平洋安定に有利な獲得を爲し得べし、この渡米懸望の意向も行はれ、日本不可侵の交渉も進んでおり、また事態によつては三國同盟の解消或は米國側に立つ可能性もありとする如き宣傳をなしており。

内閣官房  
情報課長

外國宣傳情報 第二號

昭一六・五・一三情報局

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す

重慶  
四月一日  
午後五時  
入籍  
...

(東京一日ロフ電) 日本は目下外交政策の重點を對米國交の調整に置いてゐるが之に關する詳細なる内容については未だ日本當局より何等説明されてゐない。

日本政府内部の若干の人々は日本側が屢々非公式の提唱を存してゐるのは一つの暗示であつてこの暗示によつて米國側から正式の提議を持ち出して來ることを希望してゐる模様であり、當地で知り得た限りに於ては以上の觀察は各方面ともすべて一致してゐる。又個人方面の消息によると日本の松岡外相が若し米國に行くならば必ずや外交上の勝利を獲得し太平洋の情勢は安定し且つ日本に有利になることを認め松岡の米國行を非常に望んでゐる。近年來日米間には相互不可侵協定について交渉が進められて居り最近當地で若し同盟を成立せしむる上に於いて三國同盟が惡影響を及ぼすのならば三國同盟を解消してもよいといふ意向を仄かしたと云はれる。この意向は日本側の觀點よりすれば正當の理由を備へてゐることが認められる。即ち日本側では三國條約では和平促進の手段であることを諒解してをり、日本はその他あらゆる和平體制の確立に向つて努力を拂つてゐるのである。日ソ條約も即ち其の一例である。目下日本は米國の護送船問題に對する態度を極めて注視しつつあり、國民新聞は護送船問題をとりあげ「米國は參戰を急いずる」との見出しを掲げてゐるのもその一例である。若し米國の參戰する日が來た場合は三國同盟條約に基き如何なる態度をとるべきかについては日本政府に於て頻りに研究討論が續けられてゐるが、日

本の各新聞は目下のところこれに就ては何等の論評を行つてゐない、然るに日本の第一希望は日、米通商條約の恢復であると言はれるが、日本は日ソ條約によりその對米地位を優位に置くことが出来る、しかし米國側の出先當局は屢に日本の東京及び別府の二ヶ所に於て「米國は行動にのみ注意を拂ひ空論は意に介しない」との談話を發表、その態度を明かにした。

#### △重慶(中華通訊)五月三日

(ロンドン一日電) 當地の日本側首腦部では今後日本の外交上最も重要な點は對米關係を改善し太平洋上の和平維持に關する或る種の諒解を成立せしむることにあるとしてゐる。現在日本はたしかに參戰することを欲せず今後の戰爭に参加しない保證を得るためあらゆる方法を講じて居り松岡外相も歸國後「無條件で之を達成することは非常に困難なことである」との感慨の一端を洩らしてゐる程である。

當地日本側方面では右に關して特に慎重なる態度を持してはゐるが、若し或る突然の急迫せる事態が発生せる場合日本はそれによつて或は米國側に立つかも知れないと其の可能性を暗示してゐる。一方ペルリン側からは屢々日本に對し南進政策の積極的開始を督促して居り、これ等二つの事實は表面上明かに相反することであるが而もなほ日本が自ら不參戰といふ一つの方向に進んでゐることを推知せしむるものがある。現在日本側では「ドイツ

は決して日本の参戦を望んでゐない。それは若し日本が参戦すればドイツは日本に兵器を供給しなければならぬからである。一方も日本の不参戦はドイツ側の希望によるもの。如く云つてゐるが當地一般の観測では右は日本がドイツの面子を重んじて斯くの如く言つてゐるのだと解してゐる。

### ◎蘇聯の軍需品資材領内通過禁止令

今回發表せられたる蘇聯の軍需品資材の領内通過禁止令に關して重慶より出ざる放送は同令の目的が日本向獨逸軍用品の領内通過禁止にあり、對支援助には何等影響なく却て有利なりとの宣傳を強調しあり。

### △重慶（ロイテル）四月三十日

ソ聯は同國經由の軍需品輸送を禁止する旨を發表したが、當地の意見によれば之によつてソ聯經由の支那向軍需品が打撻を蒙るものと見られてゐない。支那は曾てかなりの量の軍需品を歐洲特にスウェーデンからソ聯經由で輸入してゐたが、これらの軍需品の需要を

充たさざる多量のものではないことが指摘されてゐる。更に日本側の佛印北部占領後支那には西北、西南の二つのルートがあるが、後者（ビルマ公路）は依然として支那の最も重要な補給路となつてゐることが強調されてゐる。

### △中國國際電音五月一日北京語放送

我國政府當局は本日新聞紙の報道に依る「蘇聯の軍用品の領内禁止」に言及し「中國が蘇聯より受取れる軍用物品は例も蘇聯製造品にして何等禁止令の影響を蒙らず」と指摘、同令は外國より來れる物品を禁止せんとするものなり」と述べたり。當地觀測者は同禁令が中國に有利ならぬとし、蘇聯の軍用品が供給を通過日本に運ぶるを禁止するものなりとせり。當地に於て運送せる報道に依れば「重要なる飛行機一隊が獨逸より日本に運輸されんとしあり。飛行機が日本に到着後太平洋の軍事情勢は重大變化を起すべし」とあり。

### △大美晚報電音五月一日北京語放送

（ツレントン一日電音）當地責任筋方面が昨夜聲明せる所に依れば「蘇聯が最近實施せる軍需品の蘇聯領通過禁止の決定は蘇聯の中國向防禦物資運輸に影響なかるべし」と、信ずべき筋に於ては「蘇聯の中國供給物品は遠距離陸路直接に中國に運輸され又其の運輸品は蘇聯領内にて製造又は生産されあり。故に運輸される外國製品とは完全に同一ならず」となしあり。當地中蘇双方人士が昨日聲明せる所に依れば「軍需品供給につき論ずれば日蘇中

支那軍使節マレー到着

◎支那軍事使節マレー到着

△上海（A.P.）五月五日

（シンガポール報）ピナンに到着せる支那軍事使節は二週間に亘つて英領マレーを訪問し、同地のイギリス人文官及び武官と會見し、又マレーの有力な支那人指導者と會談する豫定である。

この使節団の主席は元海軍少将で蔣介石の軍事顧問の一人であつた蔣震將軍であり、團員には陸海空軍の専門家が含まれてゐる。この使節団は印度及びビルマを廣範圍に亘つて旅行したのちマレーに來たものである。

總務課長殿



外國宣傳情報第三號

昭二六・五・一四情報局

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少からざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

◎日本空軍の重慶爆撃

最近行はれたる日本空軍の重慶爆撃に關し重慶側より出する放送は、爆撃の回数を重ねるに従つて防空は益々強固となり、如何に殘忍なる破壊も意氣を沮喪せしめ得ず、日本に對する憎惡と復讐の決意に燃えて、却つて最後の勝利のために結束を強化せしめるものであるこの宣傳に努めあり

△成都（中央通信）五月四日 國際放送

（重慶報）昨日の空襲で當地の防空團體は優秀な活動振りを示し、團結力と能力を充分に發揮して市民の賞讃を博した。

昨日正午過ぎに六十三機の日本機が二隊に分れて重慶上空に襲來し二百箇以上の焼夷彈を投

253